

第 3 次丹波市総合計画の将来像案の決定について

1 将来像の条件

- 条件① オリジナリティがあること。
- 条件② 誰もが自然と口に出てくるもので、わかりやすいこと。
- 条件③ 私たちみんなのための将来像であること。

2 第 5 回審議会（8/23）のワークショップ素案の振り返り

Aグループ	まなび 輝く 丹（まごころ）の里 丹波市 ～ときめく未来へ～
-------	-----------------------------------

[Aグループ案の評価]

- ・「丹（まごころ）の里」と「丹波市」が重複しているように感じる。
- ・「まなび」と「ときめく」は主題として並列になっていた方が良い。

Bグループ	まなび、ときめき、輝く丹（まごころ）の里 ～まちの未来にあなたとプラス1～
-------	------------------------------------------

[Bグループ案の評価]

- ・文が長くなっている。
- ・「ときめき」より「ときめく」とした方が、自分が主体となる。
- ・「丹（まごころ）の里」だけで、誰もが丹波市のことだと分かるかどうか。
- ・「プラス1」の是非。

総括案	まなび ときめく 丹（まごころ）の里 ～みんなが輝く、未来（たんば）へ～
-----	-----------------------------------------

[総括案の評価]

- ・「丹（まごころ）の里」だけで、誰もが丹波市のことだと分かるかどうか。
- ・「未来」と書いて「たんば」と読ませることの是非。

### 3 将来像の提案

前回審議会の総括案から、各グループでブラッシュアップを図る。

案	まなび ときめく 丹（まごころ）の里 ～みんなが輝く未来へ～
---	-----------------------------------

#### [確認の視点]

- ・「1 将来像の条件」に当てはまっているか。
- ・「丹（まごころ）の里」だけで、誰もが丹波市のことだと分かるかどうか。
- ・「みんなが～する」「あなたと～する」などの表現をどうするか。
- ・「プラス1」はなくなって良いか。

#### [将来像に込める想い]

まなび	<ul style="list-style-type: none"><li>・人材育成、担い手確保</li><li>・学校教育、社会教育、生涯学習、ふるさと学</li><li>・故郷への愛着を育てる</li></ul>
ときめく	<ul style="list-style-type: none"><li>・住んでいる人の充実感</li><li>・市民が実感できる施策</li><li>・前向きな姿勢</li></ul>
丹（まごころ）の里	<ul style="list-style-type: none"><li>・丹波市のオリジナリティ（平成20年に商標登録）</li><li>・認知度を高めたい</li><li>・丹波市への愛着、誇り</li><li>・緑豊かなふるさとのイメージ</li></ul>
みんなが輝く	<ul style="list-style-type: none"><li>・行政主導ではなく市民主体のまちづくり</li><li>・市民の活躍、若い人（新しい世代）や女性の参画</li><li>・多様性</li></ul>
未来へ	<ul style="list-style-type: none"><li>・市外の人から見て魅力的なまちをつくる</li><li>・「帰りたい」「住んでみたい」と思ってもらえるまちにする</li><li>・丹波市の魅力を外に発信していく</li></ul>